

始めてみませんか!!

# 「農業体験農園」

「農業体験農園」は、農業体験を通して、みなさんの持つ様々な思いを実現できます!

入園者のみなさんは、園主の指導に従って楽しく野菜などを作ることができます!

みなさんも、農業のある生活を体験してみませんか?

仕組み・おすすめポイントなどについては、次のページをご覧ください!



自分で野菜を  
作ってみたい!  
でも、作り方が  
わからないなあ。

子どものために  
農業体験をさせて  
あげたい!

定年を迎えた。  
または、子育ても  
一段落して時間ができた。  
何か新しいことに  
チャレンジしたい!

安全・安心な  
新鮮野菜を  
食べたい!

農家や地域の  
色々な人達と  
交流したい!

体を動かして、  
リフレッシュ  
したい!



# 5つのおすすめポイント!

## 楽しさ実感!! 農業体験農園の

### ポイント 1

#### 農業体験を満喫できる! 家族みんなで農園に行こう!

播種(種をまくこと)・定植(苗の植付け)・施肥(肥料をまくこと)や除草などの日常管理から収穫まで一連の農作業が体験できます!

空いた時間に体を動かせば、適度な運動となり、気分もリフレッシュ!

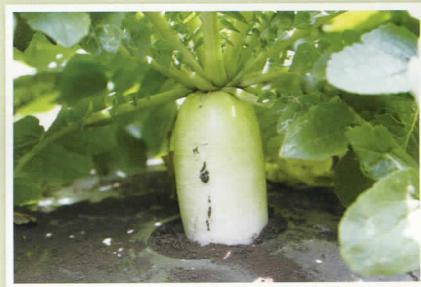
家族みんなで農業のある生活を楽しんでみませんか? きっと「命を育てる楽しさ」も感じることができますよ!

### ポイント 2

#### 安全・安心! 新鮮な野菜を食べられます!

毎日食べる野菜は安全・安心で、かつ新鮮なものがいいですね!!

自分で作った新鮮な野菜を、必要な時に必要な分だけ、収穫することができます!



### ポイント 3

#### 野菜作りのプロ直伝! 楽しく野菜作りの技術を学べます!

野菜作りのプロである農家が園主となり、月に数回開催される講習会などでの指導の下、種をまいたり植えつけたり、育つ過程を楽しみながら収穫まで学ぶことができます。一連の農作業は楽しい発見の連続です!

講習会では、技術指導以外にも、園主さんから、地域や農業にまつわる楽しい話が聞けるかも! 農業について、たくさん学ぼう!



### ポイント 4

#### 種や苗の心配は一切不要! 大きな農具は農園に備えてあるので安心!

野菜作りに必要な種や苗、鍬やジョウロなどの大きな農具や肥料などは農園に用意してあります! 休憩スペースもあるので、気軽に農園に行きましょう!



### ポイント 5

#### 交流イベントで楽しい思い出を作ろう!

毎年、「収穫祭」など利用者同士の交流を深めるイベントが開催されます!

また、親交を深めた利用者同士でイベントを企画し、「バーベキュー」や「ゴルフコンペ」等の楽しい思い出を作ることができます!



# ～ 農業体験農園の1年間の流れ(例) ～

スタート

入園募集期間

11月

入園者募集の情報を探そう!

募集情報は、以下のような場所で知ることができます。

- ①農園の入り口にある掲示板・農園の看板
- ②全国農業体験農園協会のホームページ
- ③市(区)の広報誌
- ④お住まいの地域・お近くのJA窓口、ホームページ、広報誌等

1月

募集打ち切り  
【1月末頃】

申込手続きをしよう!

見つけた情報をもとに、申込手続きを行います。

連絡先及び連絡方法については、入園者募集の情報に掲載されています。

契約期間

2月

👉 要チェック

抽選結果通知の確認

応募数が農園の区画数を上回った場合、抽選で入園者を決定し、応募者には抽選結果が通知されます。

入園者説明会の開催案内

①農園についての説明

「農業体験農園のシステム」や「作る農作物(作付計画)」、「農園利用上の注意」等について、説明を受けます。

入園者説明会の開催

②入園契約書の締結

③利用料の支払い

3月

農園の利用スタート!

【4～5月】農作業が一番忙しい時期です!  
夏野菜の植付け・栽培管理など農作業が盛りだくさん!

5月  
交流会

農作業が一段落ついたところで、  
入園者同士の交流会を開催します!

7月

【6～7月】収穫の最盛期です!  
【7～9月】秋・冬野菜の植付けを行います!  
この頃には、農作業も慣れはじめてきます!

10月  
収穫祭

共に収穫する喜びを感じあい、  
入園者同士の親交を深めましょう!

【11～12月】収穫の最盛期です!

12月

【12月】次年度も農園利用の継続を希望する場合

1月

【1月末までに】農作物をすべて収穫して、畑を元の何も無い状態に戻します!

利用継続の手続き

園主は「利用継続のアンケート」を行います。

アンケートに「継続を希望する」と回答します。

【利用継続の手続き完了】

次年度の入園者説明会等で、  
入園契約書を締結します。

利用期間(10ヶ月程度)

春作

秋作

ゴール

1年間の作業はすべて終了です!

農業体験農園は、

農家による野菜の作り方指導(農業のカルチャースクール) +

作る・収穫する楽しみ + 交流イベント の要素を

兼ね備えた農園です。

## 農業体験農園の概要

### 農業体験農園とは

野菜作りのプロである農家が園主となり、園主の指導に従って、播種(種をまくこと)・定植(苗の植付け)・施肥(肥料をまくこと)・除草・病害虫の防除などの日常管理から収穫まで一連の農作業を体験できる消費者参加型の「農業のカルチャースクール」です。

農業体験農園は、農家一人ひとりが園主となり開園するため、農家の個性によって、様々な特色があります。

「作れる農作物」・「割り当てられる区画」、「利用料」や「交流イベント」など農園ごとに違いますので、ここでは、基本的な仕組みを説明します。

#### 春作



トマト



キュウリ



ナス



ピーマン



枝豆



トウモロコシ

#### 秋作



ネギ



キャベツ



大根



白菜



ブロッコリー



カリフラワー

### 作る農作物

園主が決定した作付計画(いつの時期に、何の農作物を作るかなどを計画したもの)に従って、旬な農作物を春作・秋作を合わせて年間15~30品目作ります。

例として、以下のような農作物を作ることができます!

**春作** (春先から春・夏野菜を作ります)

⇒ トマト・キュウリ・ナス  
ピーマン・枝豆  
トウモロコシ 等

**秋作** (夏場の野菜を収穫後、秋・冬野菜を作ります)

⇒ ネギ・キャベツ・大根  
白菜・ブロッコリー  
カリフラワー 等

また、普段スーパー等では見かけない珍しい野菜を取り入れている農園もあります。



好きな品目の農作物を自由に作ることはできません!

農業体験農園では、園主の指導に従って、計画された農作物を作るため、利用者が、好きな品目の農作物を自由に作ることはできません。

作りたい農作物がある場合には、園主が行う利用者アンケート等を通じて、園主にリクエストすることができます!

## 講習会

はしゅ ていしょく せひ  
播種・定植や施肥・除草・病虫害防除などの日常管理から収穫まで一連の農作業を、園主自らが実演も交えて、丁寧に指導をします。

農園によって異なりますが、春作・秋作の作付時期には**1回30分程度**の講習会が、月に**2、3回**開催されます。

講習会は、利用者全員が受講できるように、区画の多い農園では、同じ内容の講習を数回開催します。利用者は、ご自身のスケジュールを確認してから、講習会に参加することができます！



### 減農薬・減化学肥料による野菜作りを指導

農業体験農園では、農業に対する理解を深めてもらうため、病虫害が発生した場合の対応や適期適量の農薬・化学肥料使用の必要性を学んでもらいます。その結果、野菜作りの「難しさ」が「楽しさ」に変わっていきます。

※無農薬による野菜作りを指導している農園もあります。

## 割り当てられる区画

多くの農園では20㎡~30㎡(6坪~10坪)の畑を一区画として、入園者に割り当てます。

利用者には、区画のオーナー「気分」を味わってもらいながら、割り当てられた区画の日常管理を行っていただきます！

## 交流イベント

春の「交流会」や秋の「収穫祭」など、利用者同士の交流を深めるイベントが、開催されます。また、交流を深めた利用者同士で、独自のイベントを企画することもできます。

### 人気は「一品持ち寄り」です。

参加者が各自の参加人数にあわせて料理一品を持ち寄ります。例えば、家族3人が参加してコロッケを持ってきた場合、そのコロッケだけを家族3人で食べて十分お腹がいっぱいになる量を持っていきます。

ビュッフェスタイルで並べると、参加者みんながお腹いっぱいになる量の色々な料理が集まります。

お腹がいっぱいになることはもちろんのこと、それぞれの料理に家の工夫があり、作り方などを話しのタネに交流を深めることができます。



## 利 用 料

年間利用料は、区画の広さや体験内容によって様々ですが、多くの農園では**4～6万円程度(月額4～6千円程度)**が一般的です。

農業体験農園は、「畑のオーナー気分を味わえる」+「農作物の収穫」+「農家から野菜作りの指導」+「農業に触れる楽しみ」が利用できる、とっても楽しい農園です!

農業体験農園では、「**1年を通して、契約した区画等の農作物を、全量買う契約販売**」という定義の基に行われているため、契約した区画内で作った農作物すべてを、必要なときに、農園に行って自由に収穫することができます。



## 契 約 期 間

契約は単年契約であり、おおむ概ね**10ヶ月間**、農園の利用ができます。

### 次年度も引き続き農園の利用を希望する場合

利用期間終了前の12月頃、園主は「**利用継続のアンケート**」で、意向を確認しますので、継続を希望すると回答すれば、契約を更新することができます。

なお、農園の運営方針として、利用継続期間を**最長3～5年**と定めている場合があります。

利用継続期間が終了した場合でも、再度、新規申込と同条件で応募を行い、当選すれば、引き続き農園の利用を継続することができます!

## 入園者説明会 および 契約手続き

例年2月頃に入園者説明会が開催されます。

説明会では、園主より、以下の内容について説明を受けます。

- ① 市民農園ではないこと
- ② 農業体験農園のシステム、メリット
- ③ 作付計画、講習会の日程
- ④ 利用料
- ⑤ 園主に対する連絡方法
- ⑥ 農園利用上の注意事項 等  
⇒服装、交通手段、農園の利用時間 等

【その他】 質疑応答



園主からの説明内容に同意ができれば、「**入園契約書の締結**」及び「**利用料の支払い**」を行い、契約手続きが終了します。



## 参考 「市民(区民)農園」と「農業体験農園」との違い

「市民(区民)農園」と「農業体験農園」は、農作物を作るという点において、類似している農業体験サービスとなりますが、ここでは、2つのサービスの違いを見ていきましょう! 下の対比表をご覧ください!

	市民(区民)農園	農業体験農園
特徴	自分の好きな農作物を、自由気ままに作れます!	日常の栽培管理から収穫まで、一連の農作業を園主指導のもと、体験できます!
内容	家庭菜園などのレクリエーションを目的(営利目的ではない)として、利用料を支払い、区画割りされた農地を借りて、自由に農作物を作ることができる農園です。	野菜作りのプロである農家が園主となり、月に数回開催される講習会などでの指導の下、種をまいたり植えつけたり、育つ過程を楽しみながら収穫まで体験できる農園です。
利用料	主に年間1万円以下	主に年間4~6万円程度
利用期間	1年以内程度が多く、翌年は再抽選など	3~5年の継続が可能です
運営・管理	自治体、JA、NPO法人等	園主(農家)
作付計画	利用者が作成	園主(農家)が作成
講習会	なし(または年数回)	あり(作業に応じて年間必要回数)
種苗・農具	利用者が用意 ※鍬 <small>くわ</small> やシャベルなど農具を用意されている農園もあります。	園主(農家)が用意
交流イベント	なし	年に数回
タイプ別の おすすめ ポイント	自由気ままに野菜作りをしたい! という方におすすめです!	品質の良い野菜を学びながら作りたい! 他の入園者とも交流しながら農園ライフを楽しみたい! という方におすすめです!

※利用する農園により、利用料・サービス内容は異なります。

## 参考 他に収穫体験ができる農園があります

	収穫体験農園(観光農園)
特徴	気軽に旬な農産物の収穫体験を楽しめます!
内容	イチゴ狩り、サクランボ狩りやブルーベリーの摘み取りなど、利用料を支払い、果実や花などの収穫体験ができる農園になります。



特定非営利活動法人

# 全国農業体験農園協会

(略称:NPO法人 農園協会)

「特定非営利活動法人 全国農業体験農園協会」とは、入園者のみなさんが、農業体験農園で快適に農業体験を行っていただくよう、農業体験農園の園主が協会会員として集まり、平成22年4月に設立された団体です。

主な事業内容は、農業体験農園の普及並びに運営等に対する協力・支援を中心とした農業経営の改善支援を行っています。



かとう よしまつ  
加藤 義松氏

全国農業体験農園協会 理事長。  
全国に先駆けて、日本で最初の農業体験農園「緑と農の体験塾」を平成8年に開園。先進農業の優良事例として農業白書に掲載され、平成21年に練馬区農業体験農園園主会が日本農業賞(集団組織の部)大賞を受賞。



農業体験農園は若い方からお年寄りまで幅広い世代の方々が利用し、野菜作りを楽しんでいます。安全な美味しい野菜を自分の手で育ててみたいと、野菜作りに挑戦する人が増えていますが、これがなかなか難しい! 農業体験農園は必要な物は全て揃えてあり、プロの農家が丁寧に講習会を開くので、初心者でも八百屋さん並ぶような野菜を作ることができます。

野菜作りはストレスを減らします! 新鮮な野菜が多く収穫できるので食が変わります! アンケートから本人や家族が健康になった実感は98%! あなたも、畑で爽やかな汗を流し、リフレッシュな生活、始めませんか。

## 農園の募集情報および申込手続き

募集期間

農業体験農園の入園募集期間は、概ね[11月~1月末頃]となっております。  
※随時、受付をしている農園もあります。

募集情報

入園募集の情報は、以下のような場所で知ることができます。

- ① 農園の入り口にある掲示板・農園の看板
- ② 全国農業体験農園協会のホームページ
- ③ 市(区)の広報誌
- ④ お住まいの地域・お近くのJA窓口、ホームページ、広報誌等

全国農業体験農園協会ホームページ

<http://www.nouenkyoukai.com/>

「ホーム画面」➡「募集農園一覧」



応募方法

上記、「募集情報」に、連絡先・連絡方法等の入園応募方法が記載されています。

「農業体験農園」  
に関する動画

農業体験農園の様子を映した動画がございます。ご興味のある方は、ご覧ください。

YouTube ➡

体験型農園

検索



協力：全国農業体験農園協会